

令和3年度 年間授業計画

都立南平高等学校

学年 必・選	1 学年 必修	教科	地理歴史	科目	世界史 B	単位数	2
教科書	改訂版 詳説世界史 B (山川出版社)			使用教材	最新世界史図説タペストリー 十七訂版、白地図		
授業 担当者名							

		指導内容	指導目標	予定 時数
一 学 期	中間 考 査	○世界史への扉 ○諸地域世界の形成 序章 先史の世界 第Ⅰ部 第1章 オリエンと地中海世界 ★古代オリンピア 第2章 アジア・アメリカの古代文明 第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成	・自然環境と人類の関わり、日本の歴史と世界の歴史のつながり、日常生活にみる世界の歴史にかかわる適切な主題を設定し考察する活動を通して、地理と歴史への関心を高め、世界史学習の意義に気づかせる。 ★古代オリンピアが現代に与えた影響を認識する。 人類は各地の自然環境に適応しながら濃厚や牧畜を基礎とする諸文明を築き上げ、やがてそれらを基によりおおきな地域世界を形成したことを把握させる・主題を設定し、世界史を時間的なつながりに着目して整理し、表現する技能を習得させる。	1 2
	期末 考 査	第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成(続き) 第Ⅰ部まとめ 時間軸からみる諸地域世界 ○諸地域世界の交流と再編 第Ⅱ部 第4章 イスラーム世界の形成と発展 第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開 第Ⅱ部まとめ 空間軸から見る諸地域世界 ○諸地域世界結合と変容 第Ⅲ部 第7章 アジア地域の繁栄	・ユーラシアの海域及び内陸ネットワークを背景に、諸地域世界の交流が一段と活発化し、新たな地域世界の形成や再編を促したことを把握させる。・同時代性に着目して主題を設定し、世界史を空間的なつながりに着目して整理し、表現する技能を習得させる。 ・アジアの繁栄とヨーロッパの関係について理解させるために、まずはアジアの繁栄を扱う。	1 6
二 学 期	中間 考 査	第8章 近代ヨーロッパの形成 第9章 近世ヨーロッパ世界の展開 第10章 近代ヨーロッパ・アメリカの成立 第11章 欧米における近代国家の発展 第12章 アジア諸地域の動揺 第Ⅲ部まとめ 資料からよみとく歴史の世界	・アジアの繁栄とヨーロッパの関係について理解させる。ヨーロッパの拡大を背景に、諸地域世界の結合が一層進展したとともに、主権国家体制を整え工業化を達成したヨーロッパの進出により、世界の構造化が進み、社会の変容が促されたことを理解させる。 オスマン、ムガル、清帝国及び日本などアジア諸国の動揺をと改革を扱い、その中での日本の位置づけを理解させる。	1 2
	期末 考 査	第Ⅲ部まとめ 資料からよみとく歴史の世界(続き) ○地球世界の到来 第Ⅳ部 第13章 帝国主義とアジアの民族運動 第14章 二つの世界大戦 第15章 冷戦と第三世界の独立	主題を設定し、資料を多面的・多角的に考察し、よみとく技能を習得させる。・科学技術の発達や生産力の著しい発展を背景に、世界は地球規模で一体化したことを理解させる 二度の世界大戦や冷戦を経て相互依存を強めたことを理解させる。	1 8
三 学 期	学 年 末 考 査	第15章 冷戦と第三世界の独立(続き) 第16章 現在の世界 第Ⅳ部まとめ 資料を活用して探究する地球世界の課題	今日人類が直面する課題を歴史的観点から考察させ、21世紀の世界について展望させる。 ・主題を設定し、選択したその時代の資料を活用して探求し、表現する技能を学ぶ。	1 2
	計			7 0

評価の 観点・方法	定期考査、授業の取り組み、宿題、課題等の内容などにより総合的に評価する、
--------------	--------------------------------------